

SHOW HEY シネマルーム

★★★

神さまこんにちは

2002 (平成14) 年11月30日鑑賞

Data

監督: ペ・チャンホ(裴昶浩)

出演: アン・ソンギ(安聖基) / チョ
ン・ムソン(全茂松) / キム・
ポヨン(金甫娟)

<ショートコメント>

大阪の天六(天神橋筋6丁目)には、ホクテン座という昔からの映画館がある。いわゆる「マイナー系」だが、いつも変わった映画を特集している。私は平成14年10月以降よくここに通うようになった。今回は韓国映画シリーズだ。『シュリ』など最近有名な韓国映画は観ているが、昔のそれはほとんど観たことがない。これは1987年製作の韓国映画だ。

慶州の瞻星台に登り星を描くという夢を実現するべく、一人慶州に旅立った身体障害者のピョンテ(安聖基)。これに放浪詩人のミヌ(全茂松)と妊婦チュンジャ(金甫娟)が出会い、3人は一緒に慶州へ向かった。

この時代、韓国はまだ貧しい。しかも3人もハンディキャップ持ちの人間だ。しかしそれぞれにハンディを背負う3人が助け合う姿は、今の時代の豊かな韓国や日本人たちが失ったものを見せつけてくれる。

淡々と進むストーリーのため、意外性は少なく、突如涙することは少ないものの、『神様こんにちは』というタイトルがいかにピッタリの心温まる佳作だ。

2002 (平成14) 年12月2日記